

第61回技能五輪全国大会 「貴金属装身具」職種 Q & A

NO.	質問内容	回答内容
Q1	去年の課題図には本体などに裏正面図があったと思うのですが今年は無いのでしょうか。	課題図の「公表図1」にあります「仕上がり背面イメージ画像」を参考にして作成します。(今回、裏面の凹凸が少ないとおり、特に背面図は記載しておりません)
Q2	大会で支給されるロウ材はどこのメーカーのロウ材でしょうか。	協力企業である 石福金属興業(株)様より提供されるK18ろう、K14ろうを使用して競技を行います。 各ろう材の融点等の情報は、支給材一覧に記載されていますので、参考にしてください。 なお、競技中の支給材料については、会場で配布します地金、ろう材のみを使用してください。 協力企業様から取り寄せた同質の材料であっても、競技中に使用する事はできません。
Q3	フリーイン部の高さの寸法が10ミリとなっていますが、この高さは加工を施したパーツを10ミリぴったりに届かせるよう配置しなければならないのでしょうか。それとも石柱の爪が10ミリぴったりになるよう配置すれば良いのでしょうか。あるいは10ミリに届かずとも、すべてのパーツが10ミリをこえないように収まつていれば良いのでしょうか。	裏張り部（底辺）から計測して、フリーイン部の主要部材（板材、石座の座の部分等、）が、10ミリを越えないように収まつていれば問題ありません。 なお、石座の爪先等は、この限りではありません。 爪先は石留めで高さが下がるものと判断します。 (覆輪留めの石座は、フリーインでは使用できません。) 本体部分とのバランスを考慮し、会場で公表されるテーマに基づいたフリーインを発案してください。
Q4	課題専用の工具は禁止とのことですが、ホームセンターで購入した木材や鉄の玉、パイプ等普段から会社で使用している物は使用していいのでしょうか？	課題専用工具類の使用禁止について 禁止工具類について、基本的な考え方としては、技能検定と同じように考えてください。 例として、今回課題のハート型部材の肉付け(膨らます)作業で、シャリ盤(鉛板)や木型を使用して作業をする場合、練習で出来た凹みを利用する事はできません。 シャリ盤等は、平たい状態の物を持参してください。 なお、競技時間内に、新たに凹みを造る事は、何ら問題にはなりません。 また、競技会場で、木製サイコロ台を一人1台ずつ配布しますので、利用されても結構です。 普段の仕事で使用されている、サイコロ台等を持参し使用される場合は、会場設営時に、全員の工具点検を行いますので、ご協力ください。 普段使いの工具類は、選手間の公平性を考慮しつつ、極力制限をしないようにしています。 持参工具類一覧及び、会場設備一覧をお読みください。